

平成23年11月20日執行

福島市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



自由民主党公認  
**丹治 トモユキ**  
(40歳)

## 福島には 若々しい 未来が 必要です!!

福島再生への決意 Start Line

福島の再生は、今この地に命を受け継ぐ私たちの責任です。私たちは、これからも続く苦難を引受け、再生を誓い合い、子どもや孫に確かな未来を引継ぐ責任があります。

決断と覚悟 私たちが守りぬくこと



- ① 命を守りぬく 大規模除染と継続的健康管理の実施。
- ② 生活を守りぬく 「食」と「睡」の確保が最低ラインです。
- ③ 未来を守りぬく 今こそ、地方分権、日本のクニの形をデザインし直す時です。

経歴 福島市議会議員2期、村井よしひろ(現宮城県知事)秘書  
慶應義塾大学法学部(類)通信課程(卒業)

## \*\*\* みんなで支えあい、明日へ。

未来を担う子どもたちを健やかに育み、命のリレーを育み、ふくしまの未来を育みます。



自由民主党公認  
**さくらだ 葉子**  
五十四歳

福島のひと・街・文化・自然そして大地と海の恵みの復興に全力を注いでまいります。女性として妻として母親として「福島の宝」である子どもたちを全力で支えてまいります。いまも・そしてこれからも...

**\*\*\* 復旧復興対策**  
子どもたちが安全に安心して暮らすことができる「ふくしま」は、誰もが安全に安心して暮らすことができる「ふくしま」です。

**\*\*\* 社会保障対策**  
年金・健康保険制度を支えていくのは、私たちの子どもたちです。税金を納める人が少なくなれば、社会保障制度を維持できません。

**\*\*\* 経済対策**  
生産力・経済力を支えていくのは、私たちの子どもたちです。生産年齢人口が減ることは、生産力・経済力が低下することです。

**\*\*\* 少子高齢対策**  
子どもたちが安全に安心して暮らすことができる「ふくしま」は、高齢者も安全に安心して暮らすことができる「ふくしま」です。

さくらだ葉子プロフィール

- 昭和三十二年福島市瀬上町生まれ
- 福島市立瀬上小学校卒業
- 桜の聖母学院中学校・高等学校卒業
- 国立音楽大学声楽科卒業
- 福島学院大学短期大学部客員教授
- 平成十五年福島県議会議員初当選
- 平成十七年商売文教委副委員長
- 平成十九年福島県議会議員二期目当選
- 平成二十一年商売文教委委員長

葉子 福島の未来のために



社会民主党  
**こんの 長人**

こんの長人の基本政策!

- ① 働く人を大切に活力ある福島県をつくりまします。
- ② 医療・福祉の充実で安心の福島県をとりもどします。
- ③ 福島県の未来のために教育予算の拡充に取り組みまします。
- ④ TPPに反対し、やりがいのある農業をめざします。
- ⑤ 平和や人権、環境を大切に、子どもたちに輝かしい未来をひきつぎまします。

子どもたちの未来の安全と安心のため、今こそ脱原発を!

- ① 脱原発社会を実現するため、県内の原発の再稼働は認めません。
- ② 福島を自然エネルギーの開発拠点とし、産業の活性と雇用創出の原動力とします。
- ③ 県民の不安や要望によりそった被ばく対策を推進します。
- ④ そのためにも除染のスピードアップと食品の安全確保に全力をつくします。

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報をホームページに掲載することや印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成23年11月20日執行

福島市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



無所属  
ささき まさこ  
佐々木慶子

3.11の地震と津波に続いておきた「福島原発事故」で私たち福島県民は「ヒバクシャ」になってしまいました。家、くらし、生きがいさえも奪われ、期限付きの仮設住宅で先の見えない生活を強いられる多くの県民がいます。県内ほとんど全域が放射能で汚染され、子どもを安心して育てられない環境になってしまいました。個人ではどうしようもない「放射能汚染」の恐ろしさを日々、突きつけられている重い現実があります。こういふ時こそ政治の温かい手が必要ではないでしょうか。そのために私は「反原発」を前面に掲げて、以下のことを福島県に対して求めていきます。

### 1 福島第一及び第二原発全機を即時、廃炉にする。

放射能被害は時間の経過と共に深刻になります。混乱している時こそ正確な情報は不可欠です。情報は隠さず、操作せず即座に開示すること。県民の分断・混乱を招いたり、判断を誤らせる意図的な情報は排除すること。  
世界に類のない未曾有の放射能被害を発生させた当事県として、事故の根本的的全面解決に当たること。また県民・市民の目線に沿った「原発」に依存しないシステムによって真に安全・安心な復興実績を世界に示すこと。

### 2 放射能の影響を受けることの大い子ども、妊婦、若者たちを放射能被害から守るため、希望する家族は全員、県内外の安全な場所に、一刻も早く移住できる対応をすること。子どもには極力、サテライト方式を取り入れ、また地域・学区・学校JUNIORユニバーシティを確保すること。

避難又は移住した被災者が自立できるまでの生活の保障をすること。  
自主避難、指定区域内避難、県内居住者の区別なく、県民の被曝被災に対して損害に応じた全面的な補償をすること。東京電力に対して要求すること。  
高価な割りに粗末で短期間しか住めない仮設住宅は資源と税金の浪費です。長期的に居住できる堅牢な中高層建築などの住宅を建設し提供すること。  
県内居住希望者には県内要所の比較的線量の低い所に総合福祉型の「ミニシティ」タウンを創設し、孤立せず、生涯現役、寝たきりゼロをめざす生き方を保障するシステム作りをすること。

### 3 放射能被害を受けた全ての県民に対して、「健康手帳」(仮称)を配布し、生涯にわたる健康の保障を確保すること。

食物による内部被曝を出来るだけ予防するため、各戸に1台の食品放射能測定器を配布すること。その際、正確な数値が出て操作が簡便な機器を調達し、配布すること。

### プロフィール

1963年 中学校英語科教諭新任  
須賀川市立第一中学校勤務  
1966年 福島市立野田中学校勤務  
1969年 福島県立大笹生学園勤務  
(現県立大笹生養護学校)  
1974年 福島市立信陵中学校勤務  
1980年 福島市立第四中学校勤務  
1988年 福島市立吾妻中学校勤務  
1992年 福島県教職員組合専従  
(中央執行委員 県女性部長5年)  
1997年 福島市立北信中学校勤務  
2003年 教職定年退職  
2006年 「ふくしまWAWAWA一環  
話・和一の会」を設立。  
WAWAWAシリーズで環  
境・人権・平和に関する学習  
を深め、課題解決に努めている。  
ここ近年は「原発問題」  
に集中的に取り組み、審議  
を唱らし続けてきた。シリー  
ズはこれまで17回実施。  
2010年 「沈黙のアピール」行動を呼  
びかけ、昨年8月4日から県  
庁玄関前で「プルサーマル  
を導入しないで!」と横断幕  
を広げて、平日、連日50日  
間仲間と共に立ち続けた。  
県知事にメッセージは300  
人以上、延べ参加者は500  
人を越えた。現在も月1回  
継続中。

公明党 公認

あなたの声に一直線。みんなで元気なふるさとを!

# 安心と希望を!!

## 命を守る。子どもを守る。くらしを守る。

大震災で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。  
震災の復興は心の復興から。「元気な「ふるさと」をつくしま」を取り戻すため、未来を担う子どもをはじめ、県民一人ひとりの声と心を大切に、被災者の支援、復旧・復興に全力で働いてまいります。皆様の力強いご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

### じんの源次郎の約束。

- 迅速、徹底した除染の実施
- 風評被害・賠償対策に全力
- 県民の健康や食品の検査を強化
- 復興・子ども特区の早期実現
- 再生可能エネルギーの導入
- 産業の振興と雇用の確保
- 観光・文化・スポーツの振興



じんの源次郎

●プロフィール  
[現職] ● 県議会企画環境委員 ● (財) 県体育協会理事 ● 党福島県本部代表 ● 党県議団団長  
[経歴] ■ 昭和22年3月18日生まれ。64歳  
■ 清水小学校、信陵中学校、県立福島高校を経て中央大学経済学部卒業  
■ (株)福島交通を経て、公明新聞社に13年間勤務  
■ 福島市議会議員3期、福島県議会議員現在4期  
[座右の銘] 日に新た [趣味] 写真、テニス

◆ オリジナルの未来への夢  
「原発事故から復活したフクシマ」を記憶に刻むこと。  
◆ 自信をもって世界からお客様を迎えることのできる「ふくしま」をみんなで取り戻すこと。ふくしまで世界の選手が活躍した大会を創り上げたという自信をもつこと。子ども達が世界トップの選手と交流し、世界に向けて活躍したいという夢や希望を持つこと。そして世界の人々にもう一度

ふくしまの復興への力  
◆ 復興への確信のための除染の加速  
◆ 被ばく量・除染の数値目標・時期の明確化。  
◆ 除染の加速のために放射性物質の置き場、中間処理施設を早期決定。  
◆ ひとりひとりが安心して力を発揮する為の健康管理  
◆ 基金を創設し、健康状態の定期的な把握と適切な医療を速やかに受けられる体制を確立。  
◆ 復興特区活用による規制緩和、税負担の軽減等による農工商産業の堅持・育成  
◆ 事業の継続・拡大に必要な投資意欲、競争力の回復を確保し、地元の産業、雇用、経済循環を死守。  
◆ 医療、省エネルギー・新エネルギー関連の研究開発・先端地域としての地位確立。  
◆ モノづくり「Made in Fukushima」環境技術製品の世界への発信  
◆ 研究成果を利用した付加価値の高い環境技術製品をふくしまのモノづくり技術を結集して世界に供給。

目指す姿  
「世界基準」での危機管理対応と復興。信頼とスピード。国際的に認められる都市の再生  
◆ 世界レベルのエネルギー・医療の研究開発拠点、先端都市。  
◆ 地場産業の結集による「Made in Fukushima」環境型製品の生産発信拠点。  
◆ 豊かな県土を取り戻し、果樹王国・観光資源を死守。



ま佐藤 まさひろ

ふくしまに力、そして夢を。  
大原則  
子ども達を守ること  
職を守ること  
地域と生活を守ること  
がんばろう 福島

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報をホームページに掲載することや印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成23年11月20日執行

福島市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

## 除染を早く、全面賠償と自主避難にも支援を

### 東電と国に スバリものをいえる代表として働かせて下さい



日本共産党  
宮本しげお

今回の原発事故は明らかに「大災」です。日本共産党は四十五年前から原発の危険性を告発し続けてきました。私は東電と国にハッキリものを言い、みんなの願いを届けます。みなさんのお力をおかしく下さい。

略歴 看護師として福島県立病院・福島医療生協に勤務、7期28年福島市議を勤める。子どもの医療費無料化、30人学級実現に尽力。

#### 私のお約束

- ◎仮置き場とその費用は国の責任で、もっと早く全域で除染を。
- ◎食品検査体制を強化し、医療費は18歳まで無料に。希望者全員の検診やガン検診を無料に。
- ◎精神的苦痛、風評被害を含め県民がうけた被害の全面賠償を。
- ◎農業、医療に打撃を与えるTPPに反対します。

除染、賠償の財源はあります。

- 使用済み核燃料再処理引当金「など」原発埋蔵金四、八兆円。
- 原発を推進してきた関係企業の利益剰余金五七兆円。

大激戦です  
あなたの一票は、宮本しげおを応援してください

## 今こそ、県民の底力で子育て世界一の福島をつくらう!!



いしはら  
しんいち  
信市郎 44歳  
略歴 福島市議会議員2期  
福島県議会議員1期

福島の未来を担う子供たちの健康と命を守ります

子供たちの将来の不安を取り除くため、あらゆる健診体制をより充実させます。また、安心・安全を確保するためにも農林水産業を重視し、食品の各検査体制を強化します。

除染を強力に推進し東京電力による全面賠償を実現します

除染と放射性物質中間処理施設の決定を最速で進め、風評被害を必ず払拭し安心して暮らせるふるさとを取り戻します。原子力災害で失われた生活の再建のために、国と東京電力にすべての県民を対象とした全面賠償を強力に推し進めます。

福島県の早期復興を実現し脱原発社会を推進します

税や社会保障負担の軽減免除を実施し、企業誘致を推進すると共に地場産業を支え雇用を守ります。また、県内立地の原子炉の全廃を目指し、新しい防災都市福島を世界に発信していきます。

福祉のさらなる拡充を実現します

老人ホーム入所待機者解消問題に正面から取り組み、施設整備のスピードを速めていきます。また、児童虐待をなくす努力をし、通常保育に加えて病児・病後児保育や時間外・休日保育の運営規模を拡大するなど子育て支援政策のさらなる拡充を実現し、社会福祉制度の充実した住みやすい福島県をつくりたいです。



にしやま  
なおとし  
尚利

この夏、猛暑の中を子供たちはこんななかつこうで通学した。放射能を恐れるこんな日々が続いてはならない。

今こそ、新しい出発の時。

「住んでよかった」福島をつくりたい。



- 1 脱原発、クリーンエネルギー都市・福島づくりをめざします。
- 2 放射能による健康被害のサポート体制をつくりたい。
- 3 風評被害の補償として減税・免税を国に求めます。
- 4 幼児教育の無償化をめざします。
- 5 防災教育と安心安全への備えを進めます。
- 6 地域の祭りを通して、地域の絆の復活をサポートします。

〈にしやま尚利プロフィール〉1965年（昭和40年）2月26日、土湯温泉町に生まれる（46才）。土湯のあった温泉町で幼少期を過ごす。実家はラーメン屋。市立土湯小学校・西信中学校、県立福島東高等学校を経て法政大学経済学部を卒業。木下工務店で宅地建物取引主任者として9年間住宅不動産営業に携わる。平成8年5月帰郷し、白河にて代議士の秘書として政治の基礎を学ぶ。平成11年福島市議会議員（1期）・平成15年福島県議会議員（1期）を務める。現在両親、妻、子供3人と7人暮らし。●座右の銘：未見の我 ●趣味：旅行、スポーツ、読書

平成23年11月20日執行

福島市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



### 略歴

- 福島市議会議員
- 川崎市長(福島市水保地区出身)
- 阿部孝夫秘書
- 米国ジャクソン市政策研究員
- U-ゼンセン同盟福島県支部政治顧問(現)
- NPO子ども未来クラブ理事長(現)

## 新しい福島県へ 心、ひとつに

### 責任世代42歳!

#### 大場の思い

子どもたちが公園で楽しく遊んでいる山でキノコを生懸命に採っている。天気の良い日に布団をバタバタ叩いている。河原で家族が弁当を広げている…

そんな当たり前の風景が見られなくなりました

それでも福島が大好きだということは変わらない

そんな当たり前の生活を取り戻すために私は一生懸命に頑張ります

皆様のお力を、私にください

#### 大場の政策

- 放射線対策全力で「水道・食品を守る
- 除染なくして復興なし
- 県民の健康が第一健康調査の徹底実施
- 原発依存を改めエネルギー先進県へ
- 高齢者、障がい者施策の充実



松下政経塾員

# 大場

おのおのば  
ひでき

民主党公認 Facebook 大場秀樹 検索 Twitter @obahideki

### プロフィール

- 経歴
  - 一九六五年生まれ四十六歳
  - 妻と男の子二人の四人家族
  - 趣味: スポーツ、映画鑑賞、読書
  - 信条: 日々精進
- 現職
  - 福島県議会議員(二期)
  - 福島県議会議員連合副委員長
  - 商売文藝委員
  - 民主党福島県支部連合会 常務幹事
  - 民主党福島県支部連合会 組織対策委員(二期)
  - 第一区総支部連合会幹事
  - 福島市立小中学校PTA連合会 副会長
  - 南向小学校PTA会長
  - 浜利地区自治振興協議会顧問

## 福島の未来を切り拓く!!

除染なくして復興なし!! 災害復旧・復興に全力投球!!



- 「放射能から県民を守り安全・安心な社会の確立」を掲げ、汚染されたすべての県土の除染に努め、安心して暮らせるふくしまを創造します。
- 被ばくから県民の健康を守り、医療・福祉の充実を図ります。
- 福島県産の食品が安心して食べられる検査体制の充実に努めます。
- 放射能で被災を受けた全県民が賠償の対象となるよう求めていきます。
- 「早期の復旧・復興で元気あるふくしまの実現」を掲げ、原発事故の早期収束と災害からの復旧・復興を目指して元気になるふくしまを創造します。
- 低迷する景気の回復と雇用の確保に努め、働く人が報われる社会を創造します。
- 「原発からの脱却。新たなエネルギー政策への転換によるふくしまの創造」を掲げ、原発からの依存を脱却し、再生可能エネルギーの導入による人や環境にやさしい社会を創造します。
- 新たなエネルギー政策による新たな雇用を確立します。
- 「子育て支援・教育」の充実
  - 震災で不自由な学校生活を強いられている子どもたちに、充実した教育の環境改善に努めます。
  - 未来ある子どもたちと、子育て世代の支援に努めます。

### 決意

3月11日の東日本大震災において被災された皆様からお見舞いを申し上げます。

福島県は地震・津波により大きな被害を受けました。また、原発事故により多くの県民が県内外に避難を余儀なくされている上、いまだ収束をしない原発事故と県土に飛散した放射能により私たちは不安な日々を送っております。

震災以降、避難者の生活支援、放射能の除去対策、被災者および風評被害に対する賠償問題、県民の健康不安解消への対応、子どもたちが安心して過ごせる学校生活の改善等に、この間、全力で取り組んでまいりました。

今後は原子力に依存せず、新たな再生可能エネルギーの導入による「ふくしま」の創造を目指して、一日でも早い原発事故の収束の対応と復旧・復興に頑張りたいと思っております。



# 高橋ひでき

46才

## 投票日に投票できない方は、

期日前投票制度 又は 不在者投票制度 を利用しましょう!!

避難されている方は、避難先の市区町村で不在者投票ができます。

- 場所 / 期日前投票: 各市町村選挙管理委員会が定める場所
- 不在者投票: 滞在地(避難先)の市区町村選挙管理委員会
- 手続き / 期日前投票: 期日前投票所に行って直接、投票箱に投票します (ただし、宣誓書の記載が必要となります)
- 不在者投票:

- ① 投票用紙等を請求する
- ② 投票用紙等を受け取る
- ③ 滞在地(避難先)の市区町村で投票する

- ・ 「不在者投票請求書・宣誓書」を、住民票のある市町村選挙管理委員会に郵送してください。
- ・ 様式は、県選挙管理委員会ホームページからダウンロードできます。
- ・ 【注意】受け取った投票用紙への事前記入等はしないでください。
- ・ 滞在地(避難先)の市区町村から住民票のある市町村に投票用紙を送る必要があるため、余裕を持って早めの投票をお願いします。

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報をホームページに掲載することや印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。